

2023年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 —
 コード番号 — URL <https://www.kaiho-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 新城 一史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 崎山 博之 TEL (098)867-2112
 四半期報告書提出予定日 2022年11月25日 配当支払開始予定日 2022年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期中間期	6,323	△0.9	1,132	77.0	1,043	79.6
2022年3月期中間期	6,382	△6.7	639	△44.6	580	△17.6

(注) 包括利益 2023年3月期中間期 △711百万円 (△214.4%) 2022年3月期中間期 622百万円 (14.8%)

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期中間期	307	50	—	—
2022年3月期中間期	171	14	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期中間期	839,851		42,375		5.0	
2022年3月期	872,824		43,173		4.9	

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 42,342百万円 2022年3月期 43,138百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	25.00			
2023年3月期（予想）			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	650	△36.2	630	△13.6	186	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期中間期	3,400,000 株	2022年3月期中間期	3,400,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期中間期	7,910 株	2022年3月期中間期	7,612 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2023年3月期中間期	3,392,141 株	2022年3月期中間期	3,392,510 株

(個別業績の概要)

1. 2023年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益		1株当たり中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
2023年3月期中間期	6,314	△0.6	1,141	80.9	1,048	82.0	309	01
2022年3月期中間期	6,355	△6.9	630	△46.0	575	△19.1	169	72

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期中間期	839,838		42,176		5.0	
2022年3月期	872,707		42,947		4.9	

(参考) 自己資本 2023年3月期中間期 42,176百万円 2022年3月期 42,947百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	650	△35.2	630	△12.4	186	14

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
（1）中間連結貸借対照表	3
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
（3）中間連結株主資本等変動計算書	6
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	8
3. 中間財務諸表	9
（1）中間貸借対照表	9
（2）中間損益計算書	10
（3）中間株主資本等変動計算書	11

※2023年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）における我が国の景気は、新型コロナウイルス感染防止と経済活動の両立が図られる中で、全体として持ち直しの動きが続きました。しかしながら、地政学的リスクなどを背景に、エネルギーコストや原材料価格の高騰、急激な為替変動等、企業や家計に対するインフレ圧力が強まっており、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

沖縄県内の景気についても、全体として緩やかに持ち直しの動きが見られております。観光関連産業では繁忙期において行動制限がなかったことで、入域観光客数は前年比増加に転じました。しかしながら、その一方で人手やレンタカー不足など受入体制の課題が顕在化しました。また、飲食・サービス業などについては仕入れ価格の高騰による収益の圧迫など、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当行は、これまで以上にお客さま支援に軸足を置いた活動を強化することを方針に掲げ、第17次中期経営計画「スピード&クイックレスポンス」（計画期間：2022年4月～2025年3月）をスタートしました。これまで以上のスピード感を持ち、お客さまへ寄り添い良質な金融サービスの提供を行うことで、様々な課題解決に向けた取組みを実践してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は次のとおりとなりました。

経常収益は、有価証券利息配当金は増加しましたが、貸出金利息収入が減少したことなどから、前年同期比59百万円減少の63億23百万円となりました。また、経常費用は、営業経費や与信関係費用が減少したことなどから、前年同期比5億52百万円減少の51億90百万円となりました。

結果、経常利益は、前年同期比4億93百万円増加の11億32百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比4億62百万円増加の10億43百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の連結財政状態について、総資産は前連結会計年度末比329億72百万円減少の8,398億51百万円、純資産は前連結会計年度末比7億97百万円減少の423億75百万円となりました。

主要勘定としては、貸出金は、事業性および個人向け、地方公共団体向け貸出がともに減少したことなどから、前連結会計年度末比84億80百万円減少の5,448億24百万円となりました。

預金は、法人預金は減少しましたが、個人預金および公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比140億86百万円増加の7,568億8百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比76億98百万円増加の1,772億57百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結及び単体の業績予想は、2022年5月13日に公表した数値から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当中間連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
現金預け金	133,635	101,208
コールローン及び買入手形	550	72
有価証券	169,559	177,257
貸出金	553,305	544,824
外国為替	39	405
その他資産	6,723	6,766
有形固定資産	8,725	8,469
無形固定資産	967	813
退職給付に係る資産	947	954
繰延税金資産	1	646
支払承諾見返	1,679	1,709
貸倒引当金	△3,312	△3,276
資産の部合計	872,824	839,851
負債の部		
預金	742,722	756,808
借入金	80,000	34,000
外国為替	5	5
その他負債	4,160	4,110
賞与引当金	333	333
退職給付に係る負債	301	295
役員退職慰労引当金	239	88
睡眠預金払戻損失引当金	13	5
利息返還損失引当金	6	6
偶発損失引当金	117	112
繰延税金負債	69	—
支払承諾	1,679	1,709
負債の部合計	829,650	797,475
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	33,739	34,698
自己株式	△27	△28
株主資本合計	41,469	42,426
その他有価証券評価差額金	1,555	△178
退職給付に係る調整累計額	113	93
その他の包括利益累計額合計	1,668	△84
非支配株主持分	34	33
純資産の部合計	43,173	42,375
負債及び純資産の部合計	872,824	839,851

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	6,382	6,323
資金運用収益	5,374	5,350
(うち貸出金利息)	4,884	4,756
(うち有価証券利息配当金)	418	495
役務取引等収益	680	641
その他業務収益	109	117
その他経常収益	217	212
経常費用	5,742	5,190
資金調達費用	54	25
(うち預金利息)	53	31
役務取引等費用	562	518
その他業務費用	2	3
営業経費	4,685	4,554
その他経常費用	438	87
経常利益	639	1,132
特別利益	280	285
固定資産処分益	2	18
退職給付制度改定益	277	—
移転補償金	—	266
特別損失	11	97
固定資産処分損	11	26
減損損失	0	71
税金等調整前中間純利益	908	1,320
法人税、住民税及び事業税	219	246
法人税等調整額	107	32
法人税等合計	326	278
中間純利益	581	1,041
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	580	1,043

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益	581	1,041
その他の包括利益	40	△1,753
その他有価証券評価差額金	126	△1,734
退職給付に係る調整額	△86	△19
中間包括利益	622	△711
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	620	△710
非支配株主に係る中間包括利益	1	△1

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,537	3,219	33,179	△26	40,910
当中間期変動額					
剰余金の配当			△84		△84
親会社株主に帰属する中間純利益			580		580
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	495	△0	495
当中間期末残高	4,537	3,219	33,675	△27	41,405

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,652	228	2,880	33	43,824
当中間期変動額					
剰余金の配当					△84
親会社株主に帰属する中間純利益					580
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	126	△86	40	1	41
当中間期変動額合計	126	△86	40	1	536
当中間期末残高	2,778	141	2,920	34	44,360

当中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,537	3,219	33,739	△27	41,469
当中間期変動額					
剰余金の配当			△84		△84
親会社株主に帰属する中間純利益			1,043		1,043
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	958	△0	957
当中間期末残高	4,537	3,219	34,698	△28	42,426

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,555	113	1,668	34	43,173
当中間期変動額					
剰余金の配当					△84
親会社株主に帰属する中間純利益					1,043
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,734	△19	△1,753	△1	△1,754
当中間期変動額合計	△1,734	△19	△1,753	△1	△797
当中間期末残高	△178	93	△84	33	42,375

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより投資信託財産について市場価格の有無、重要な解約制限の有無及び基準価額を時価とみなす取扱いの可否等の判定を行い、時価を算定することといたしました。

なお、この変更による当中間連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当中間連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (重要な会計上の見積り)」に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 中間財務諸表
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当中間会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
現金預け金	133,635	101,207
コールローン	550	72
有価証券	169,644	177,342
貸出金	553,305	544,824
外国為替	39	405
その他資産	6,674	6,759
その他の資産	6,674	6,759
有形固定資産	8,725	8,469
無形固定資産	966	812
前払年金費用	798	828
繰延税金資産	—	682
支払承諾見返	1,679	1,709
貸倒引当金	△3,312	△3,276
資産の部合計	872,707	839,838
負債の部		
預金	742,871	756,987
借入金	80,000	34,000
外国為替	5	5
その他負債	4,169	4,119
未払法人税等	300	260
リース債務	211	187
資産除去債務	74	74
その他の負債	3,135	3,230
賞与引当金	331	330
退職給付引当金	313	302
役員退職慰労引当金	237	88
睡眠預金払戻損失引当金	13	5
偶発損失引当金	117	112
繰延税金負債	21	—
支払承諾	1,679	1,709
負債の部合計	829,759	797,661
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
資本準備金	3,219	3,219
利益剰余金	33,662	34,625
利益準備金	4,537	4,537
その他利益剰余金	29,124	30,087
別途積立金	27,895	28,395
事務機械化準備金	400	400
圧縮記帳積立金	22	22
繰越利益剰余金	806	1,270
自己株式	△27	△28
株主資本合計	41,391	42,354
その他有価証券評価差額金	1,555	△178
評価・換算差額等合計	1,555	△178
純資産の部合計	42,947	42,176
負債及び純資産の部合計	872,707	839,838

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
経常収益	6,355	6,314
資金運用収益	5,374	5,350
(うち貸出金利息)	4,884	4,756
(うち有価証券利息配当金)	418	495
役務取引等収益	650	628
その他業務収益	109	117
その他経常収益	221	216
経常費用	5,724	5,172
資金調達費用	54	25
(うち預金利息)	53	31
役務取引等費用	561	518
その他業務費用	2	3
営業経費	4,682	4,549
その他経常費用	423	75
経常利益	630	1,141
特別利益	280	285
特別損失	11	97
税引前中間純利益	899	1,329
法人税、住民税及び事業税	216	245
法人税等調整額	107	35
法人税等合計	323	280
中間純利益	575	1,048

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
				別途積立金	事務機械化準備金	圧縮記帳積立金			
当期首残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,495	400	23	655	33,112
当中間期変動額									
剰余金の配当								△84	△84
別途積立金の積立					400			△400	—
圧縮記帳積立金の取崩							△0	0	—
中間純利益								575	575
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	400	—	△0	91	490
当中間期末残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,895	400	23	746	33,603

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計	
当期首残高	△26	40,843	2,652	2,652	43,495
当中間期変動額					
剰余金の配当		△84			△84
別途積立金の積立		—			—
圧縮記帳積立金の取崩		—			—
中間純利益		575			575
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)			126	126	126
当中間期変動額合計	△0	490	126	126	616
当中間期末残高	△27	41,333	2,778	2,778	44,112

当中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			繰越利益剰余金	
				別途積立金	事務機械化準備金	圧縮記帳積立金			
当期首残高	4,537	3,219	3,219	4,537	27,895	400	22	806	33,662
当中間期変動額									
剰余金の配当								△84	△84
別途積立金の積立					500			△500	—
圧縮記帳積立金の取崩							△0	0	—
中間純利益								1,048	1,048
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	500	—	△0	463	963
当中間期末残高	4,537	3,219	3,219	4,537	28,395	400	22	1,270	34,625

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△27	41,391	1,555	1,555	42,947
当中間期変動額					
剰余金の配当		△84			△84
別途積立金の積立					—
圧縮記帳積立金の取崩					—
中間純利益		1,048			1,048
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）			△1,734	△1,734	△1,734
当中間期変動額合計	△0	962	△1,734	△1,734	△771
当中間期末残高	△28	42,354	△178	△178	42,176